

広報ひだ

2022年

No.225

10月



北アルプスと紅葉の景色が見える「天空のブランコ」
(天空の牧場奥飛騨山之村牧場)

もくじ

- 特集「令和3年度決算報告」 (2～5)
- 情報の広場 (6～13)
- 連載の庭 (14～15)
- 戸籍の窓 (16)
- まちの話題いろいろ (17～19)
- まちづくりレシピ (20)



今回の表紙は、広報ひだ表紙写真募集で
応募いただいた写真です。
(応募者：柚原麻奈美さん・琉愛さん)

おすすめ



ごみ収集日・分別方法 スマホ・パソコンで簡単確認

■アプリ版 (スマホ)
便利！アラーム機能でゴミ
収集日の通知が届きます



■ウェブ版 (スマホやパソコン)
スマホを持ってない方やアプリ
が苦手な方も便利！



令和3年度 決算を報告します

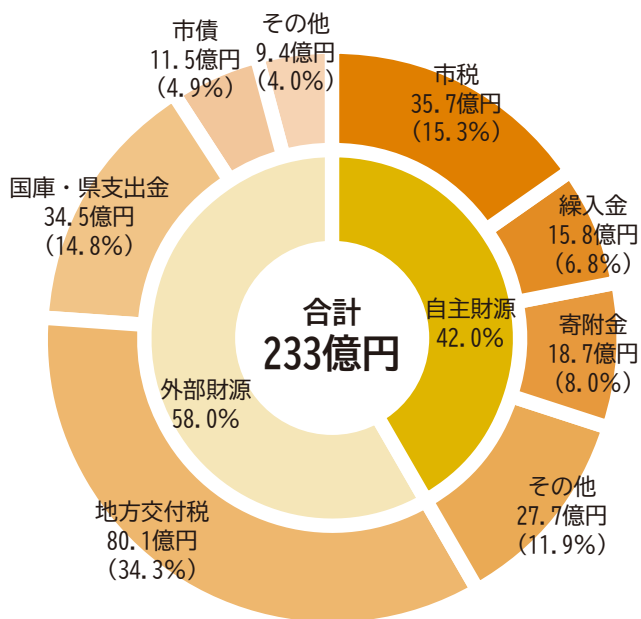
記録的大雪やワクチン接種など生活に影響



令和3年度の決算は、前年の国民一人あたり10万円給付事業が終了した反動で、対前年比決算額は大きく減少しました。また、記録的な大雪による除雪経費に加え、ワクチン接種の本格化などで多額の事業費となりましたが、国からの支援もあって、大幅な**黒字**となりました。

歳入 233億円 - 歳出 214億円 - 翌年度繰越金 = 15億円の黒字

一般会計 歳入 前年比16億円(6%)減少



歳入の前年比較

国庫・県支出金 -24億円(-41%)

- ・特定事業に国や県から交付されるお金
前年の国民1人あたり10万円給付の皆減に加え、新型コロナウイルス対策の交付金が減少しました。

地方交付税 +3億円(+4%)

- ・行政サービス水準確保のため国から交付されるお金
国の補正予算に伴って追加交付されたほか、大雪に伴う除雪費用を大幅に支援いただけました。

繰入金 +2億円(+17%)

- ・貯金(基金)を取り崩したお金
過去最高額となった除雪費用の財源として、活用しました。

寄附金 +3億円(+20%)

- ・ふるさと納税寄附金や市内外からの寄付
ふるさと納税として全国からご寄付を賜り、過去最高額となりました。

市内事業者のみなさんの努力でふるさと納税18億円突破！



令和3年度にご寄附いただいたふるさと納税は地域振興・観光・防災や福祉・子育て支援などさまざまな事業に活用されています。事業数は127にも上り、飛騨市の財政と暮らしを支えています。



学校給食メニュー向上

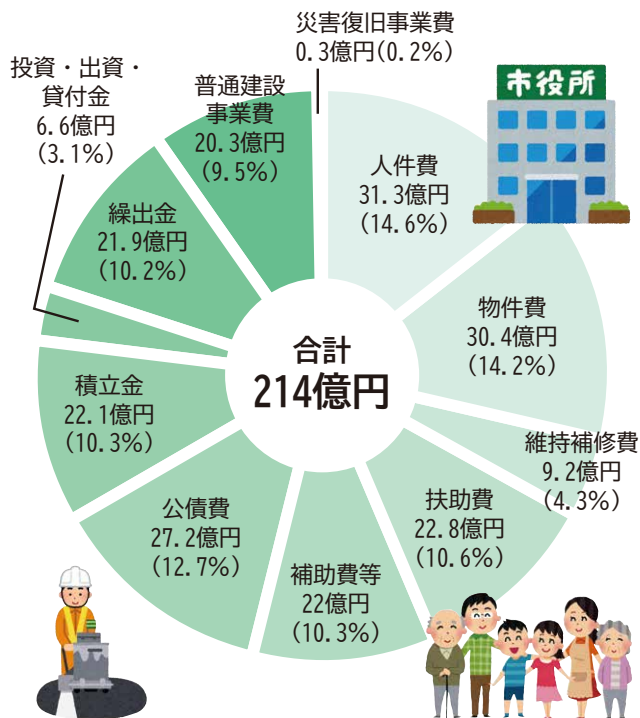


クラシックコンサートの開催



医療・介護・福祉の人材確保

一般会計 歳出 前年比2億円(9%)減少



歳出の前年比較

補助費等 -26億円(-54%)

- 個人や団体への負担金、補助金など
前年の国民1人あたり10万円給付の皆減によるもの。

普通建設事業費 -7億円(-27%)

- 道路や公共施設の整備費用など
災害復旧事業の終了や多機能型障がい者支援施設など大型ハード事業の完成による反動。

扶助費 +4億円(+26%)

- 児童手当や生活保護、障がい者支援に対する給付
子育て世帯等に児童1人あたり10万円の給付や非課税世帯に10万円を給付するなど国の事業によるもの。

維持補修費 +2億円(+29%)

- 公共施設の修繕や道路除雪費など
記録的な大雪による道路除雪や消雪装置の費用など過去最高額となりました。

災害復旧事業 -2億円(-87%)

- 自然災害により被災した施設の復旧費用
平成30年、令和2年の豪雨で被災した道路や農地などの復旧が完了した反動。

特別・企業会計の状況

すべての会計で黒字となり、健全な事業運営が行われています。

特別会計		歳入決算額	歳出決算額	実質収支額
特定の事業を行うため一般会計とは別の会計  	国民健康保険	29億795万円	28億1,824万円	8,972万円
	後期高齢者医療	4億1,638万円	4億1,213万円	426万円
	介護保険	33億4,121万円	32億468万円	1億3,653万円
	公共下水道事業	10億4,697万円	10億4,487万円	209万円
	特定環境保全公共下水道事業	1億7,099万円	1億6,897万円	202万円
	農村下水道事業	3億1,729万円	3億1,218万円	510万円
	個別排水処理施設事業	1,430万円	1,327万円	103万円
	下水道汚泥処理事業	1億5,258万円	1億5,257万円	1万円
	駐車場事業	538万円	532万円	5万円
	情報施設	2億9,591万円	2億8,753万円	839万円
	給食費	3,359万円	3,342万円	17万円
	計	87億255万円	84億5,319万円	2億4,936万円
公営企業会計		収入決算額	支出決算額	資金剰余額
地方公営企業法の適用を受けて営利的事業を行う会計	水道事業(収益)	5億3,793万円	4億7,951万円	12億3,843万円
	水道事業(資本)	5,458万円	3億900万円	
	国民健康保険病院事業(収益)	16億2,736万円	15億8,258万円	15億6,744万円
	国民健康保険病院事業(資本)	1億3,614万円	2億813万円	
	計	23億5,601万円	25億7,922万円	28億587万円

※それぞれ四捨五入した表記としているため、数値が一致しない場合があります

令和3年度を振り返る

令和3年度予算で実施した特色ある事業の一部を紹介します

新型コロナウイルス対策（決算 15 億 562 万円）



まるごと大売り出しほか 経済対策事業 (4,456万円)

商店・飲食店・タクシー事業所でさるぼコインを利用した額の20%分のポイントを還元。大売り出し142店舗、食べ歩き84店舗で2億円の経済効果。祭り縮小や自粛ムードにより落ち込んだ市民の気持ちを元気づけ、チラシにより商店等のPRを市内外に図るとともに、買い回り・食べ歩きボーナスで市内消費を促進

国給付金にあわせた 子育て世帯応援事業 (1,076万円)



子育て世帯の応援と市内消費促進のため、さるぼコインを利用した15%ポイント付与。0.9億円の経済効果

ワクチン接種体制の 整備 (1億9,917万円)



ワクチンの供給に合わせ、接種券を5月上旬から順次発送し、2回目接種は12月中旬にほぼ終了。接種延べ49,522人

無症状者に対する PCR検査 (3,329万円)



無症状だが感染に不安を抱えている方や社会経済活動の再開に向けて利用しやすい検査体制を整備し、1,904名利用

まちなか簡易 検査センター (651万円)



抗原定性検査キットを活用した簡易検査センターの整備。8月中旬～3月末で5,123名利用

感染対策の指導 (339万円)



指導員20名による飲食業・宿泊業を対象にした感染防止対策の指導助言。202店舗に換気啓発やアクリル板を設置

電子図書の導入 (400万円)



在宅にてインターネットを活用して利用できる電子図書1,100冊を整備し、多くの方が利用

市営バス等の運行事業 (1億6,739万円)



令和3年9月末終了の神原峠線の実証実験の利用状況を分析し、令和3年10月に新たに神原線の運行を開始

地域生活安心支援センター 「ふらっと」の開設 (719万円)



日々の暮らしの生きづらさや心配ごとを抱える方のさまざまな相談をワンストップで受け付ける窓口を開設

出会うの機会提供 結婚支援事業 (329万円)



コロナ禍に対応する形でのオンライン婚活イベントを2回実施し、未婚市民の6名がカップリングに至る

飛騨市産直市 そやなの整備 (5,757万円)



朝開町農産物直売施設の代替施設として、令和3～4年度で上町に新たに農産物直売施設「そやな」を整備

鳥獣被害対策 (756万円)



クマ15頭など計379頭の捕獲頭数に応じた助成金や、市民3名に対する狩猟免許及び猟銃取得助成

魅力ある公園の整備 (3,575万円)



安心・安全で魅力ある公園を目指す。令和4年秋に杉崎公園の遊具リニューアル工事が完成予定

神岡小学校 大規模修繕 (1億4,017万円)



外壁改修を中心とした神岡小学校の大規模改修工事（令和3年度からの2カ年計画）のうち、校舎西側を工事

除雪事業 (8億8,240万円)



令和3年度は記録的な降雪量となり、除雪出動回数は多い地区で54回となった

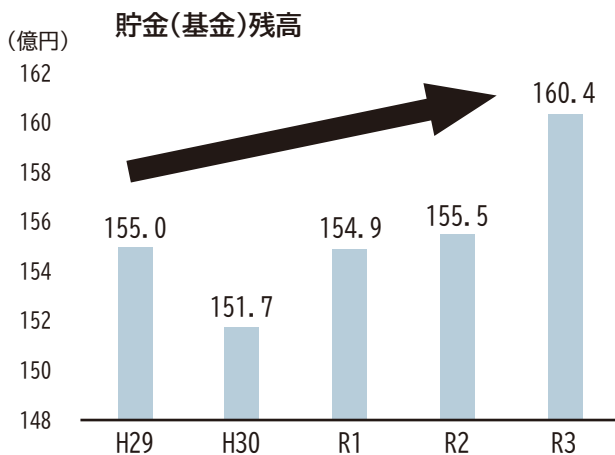
POINT!!

飛騨市の貯金は増加、借金は減少

貯金(基金)

令和3年度は、特定目的基金の中でも公共施設管理基金を活用して市庁舎における電話交換機設備更新やゆうわ〜くはうすの空調設備整備、流葉スキー場・河合スキー場のリフト等の整備を行うとともに、有線テレビ放送施設基金ではケーブルテレビ民間移行負担金への活用、また福祉事業基金では障がい者グループホーム等整備事業を実施しました。

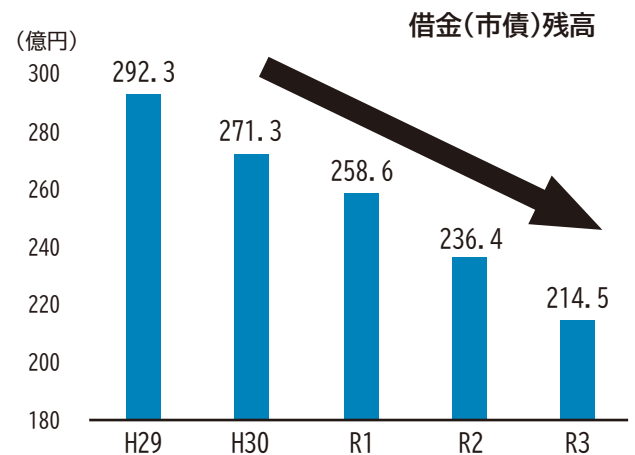
積立基金総額は4億円増加し、過去最高の基金残高となりました。



借金(市債)

令和3年度に発行した主な市債は、道路新設改良事業や住宅性能向上リフォーム補助事業、屋内運動場整備事業などに充てた過疎対策事業債5億1,760万円、神岡小学校大規模改修事業に充てた防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債6,980万円、臨時財政対策債4億1,723万円などがあります。

市債残高は平成24年度をピークに9年連続で減少しています。



健全財政を保っています

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、市の財政状況を判断するための指標を公表します。当市では、令和3年度も全ての項目で国の定める健全化基準を下回っており、財政の健全性が保たれています。今後も、将来を見据えた堅実な財政運営に取り組んでいきます。

	R3数値	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	13.15%	20.0%
連結実質赤字比率	—	18.15%	30.0%
実質公債費比率※	13.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	—	350.0%	
資金不足比率	—	経営健全化基準 20.0%	

※実質公債費比率…借入金の返済額などの大きさを指標化し、資金繰りの危険度を示すもの



監査意見総括

本市の財政は、健全な状態は維持されているものの、今後の人口減少に伴う地方交付税の見直しなど依存財源が抑制される傾向にある。自主財源確保に向けた積極的な取り組みや行財政の効率化に努め、健全かつ公正な財政運営を強く望むものである。

8月23日 意見書を都竹市長へ提出する島田哲吉代表監査委員と葛谷寛徳議会選出監査委員 ▶



お知らせ

インフルエンザ予防接種費の助成

市では、①小児および妊婦、②高齢者、③国民健康保険加入者の方を対象にインフルエンザ予防接種費を助成します。
※①と③は、ご本人や保護者が予防接種について理解し、希望によって行う任意予防接種となります
※②は予防接種法に基づく定期接種ですが、義務ではなく自らの意思と責任で接種を希望する方が対象となります

①小児および妊婦

対象者	・小児(生後6カ月～高校生3年生相当まで) ※1 ・妊婦 ※2	※1 接種日現在 ※2 母子健康手帳の交付を受けた方、もしくは医療機関より妊娠証明書を発行された方
助成金額	1回につき2,200円(接種費用との差額は自己負担)	※3 13歳以上の基礎疾患を有する方で、著しく免疫反応が抑制されており、医師の判断により2回接種が必要となる場合は助成回数が2回になります
助成回数	・妊婦および13歳以上は1回 ※3 ・生後6カ月以上13歳未満は2回	※4 河合・宮川の振興事務所で申請をされる方は、助成券は後日郵送になります。助成券の到着までに1週間程度かかります。お急ぎの方はハートピア古川にお越しください
接種期間	令和4年10月1日～令和5年1月31日	※5 妊婦の方は今回の妊娠で発行された母子健康手帳となりますが、交付をまだ受けていない方は医療機関より発行された妊娠証明書をお持ちください
申請窓口	・ハートピア古川 ・神岡町保健センター	※4 河合・宮川の振興事務所で申請をされる方は、助成券は後日郵送になります。助成券の到着までに1週間程度かかります。お急ぎの方はハートピア古川にお越しください
受付時間	8:30～17:15(土日祝日・年末年始を除く)	※5 妊婦の方は今回の妊娠で発行された母子健康手帳となりますが、交付をまだ受けていない方は医療機関より発行された妊娠証明書をお持ちください
申請窓口	接種時に飛騨市任意予防接種費助成券が必要です。下記の手続きで交付を受けてください。 (1)指定医療機関(次頁参照)に接種の予約をしてください (2)予約後、上記の窓口で助成対象となる方の母子健康手帳(※5)を持参し、申請書をご記入ください。(9月26日から申請を受け付けます) (3)接種当日、助成券を医療機関に提出してください	

②高齢者

対象者	・接種日現在、満65歳以上の方 ・60歳以上65歳未満で心臓、じん臓、呼吸器機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障がいにより日常生活活動が極度に制限される程度の障がい(障害者手帳1級程度)を有する人
接種期間	令和4年10月1日～令和5年1月31日
実施方法	市指定の委託医療機関における個別接種
個人負担	1,630円(医療機関窓口で支払う額) ※委託医療機関外で予防接種を受けられた場合は、全額自己負担となる場合があります

※接種を希望される方は、あらかじめ市指定の委託医療機関へ予約の上、接種を受けてください(飛騨市民病院は予約不要)

※詳しくは回覧チラシをご覧ください

③国民健康保険加入者

対象者	飛騨市国民健康保険加入者で、接種日現在において満50歳～64歳の方で、②(高齢者)に該当しない方
接種期間	令和4年10月1日～令和5年1月31日
実施方法	市指定の委託医療機関における個別接種
助成金額	一回のみ2,200円(差額は自己負担)
申請窓口	市民保健課(本庁舎)、各振興事務所
受付時間	8:30～17:15(土日祝日・年末年始を除く)
申請方法	接種の際には助成券が必要になります (1)市内にある市指定の委託医療機関に予約をしてください(次頁参照)(飛騨市民病院は予約不要) (2)予約後、上記の窓口で助成対象となる方の国民健康保険者証を持参し、助成券の交付を受けてください (3)接種当日、助成券を医療機関に提出してください

※やむを得ず、時間内に窓口へ来ることができない場合は、下記の問い合わせ先までご相談ください

※詳しくは回覧チラシをご覧ください

上記①と②は

問 古川町保健センター
☎ 0577-73-2948

問 神岡町保健センター
☎ 0578-82-2233



上記③は

問 市民保健課(本庁舎) ☎ 0577-73-7464
各振興事務所(国保担当係) 河合 ☎ 0577-65-2381
宮川 ☎ 0577-63-2311 神岡 ☎ 0578-82-2252

《インフルエンザ指定医療機関》

【飛騨市内】(地域ごと50音順)

所在地	医療機関名	電話番号	妊婦	小児	高齢者
古川町	江尻内科循環器科クリニック	0577-74-0041	○	○	○
	大高医院	0577-73-2051	×	★	○
	垣内クリニック	0577-73-5500	×	★	○
	河合医院	0577-74-1333	○	○	○
	玉舎クリニック	0577-73-7676	×	★	○
	古川病院	0577-73-2234	○	○	○
神岡町	飛騨市民病院	0578-82-5959	○	○	○
	本町クリニック	0578-82-1177	○	○	○
	袖川診療所	0578-82-1155	×	×	○
	山之村診療所	0578-82-5505	○	○	○
河合町	河合診療所	0577-65-2020	×	○	○
宮川町	杉原診療所	0577-62-3006	×	×	○
	宮川診療所	0577-63-2009	○	○	○

【高山市内】(50音順)

所在地	医療機関名	電話番号	妊婦	小児	高齢者
高山市	アルプスバルクリニック	0577-35-1777	○	★	×
	久美愛厚生病院	0577-32-1115	○	○	○
	高山厚生病院	0577-32-1900	×	×	○
	水口医院	0577-32-0591	×	○	○
	山下医院	0577-34-0017	○	○	○
	やまだ小児科	0577-35-1771	×	★	×
国府町	須田病院	0577-72-2100	×	×	○

- 小児・妊婦 ・医療機関によって、対象や年齢により接種を扱わない場合もあります
・★印が付いている場合は、医療機関に直接ご確認ください
- 高齢者 ・上記の表に無い医療機関で接種をご希望の場合は、古川町保健センターまでご連絡ください
- 国民健康保険加入者 ・上記の表のうち【飛騨市内】の医療機関が対象となります(市外医療機関は対象外)
※飛騨市民病院は原則予約不要ですが、小児の方は予約をお願いします

お知らせ

危険な空き家の緊急安全措置を市が行えるようになります(空き家条例の見直し)

市では、空き家に関する条例を「飛騨市空家等の適正管理及び措置等に関する条例」として全面的に見直しました。この条例は9月議会定例会で議決され、本年12月1日から施行となりますので、その概要をお知らせします。

■条例見直しの要点

今回の見直しでは、法律との整合を図るとともに、「緊急安全措置」規定を整備しました。「緊急安全措置」とは、空家等の適正な管理が行われず、市民の生命・財産等に重大な危害を及ぼすおそれがある場合で、緊急に危険を回避する必要があるときに、市が所有者等に代わって、危険を回避するための必要最低限度の措置を講ずるとともに、その費用について所有者等に請求することができるようにするための規定です。

■空家の適正管理について

今後は、空家等の窓、戸板、屋根等が損傷して部材が落下したり風雨によって周囲に飛散するおそれがある場合、あるいは、雪下ろしが行われていない空家等の屋根から雪塊が通行人の頭上に落ちてくるおそれがある場合などに、市が所有者等に代わってその危険性を取り除き、その費用を所有者等に請求する事案が発生する場合があります。空家等を所有又は管理する方は、そうした事案に該当することのないよう、今後も適正な管理を行っていただくようお願いします。

■条例の内容

新条例の内容については、市ホームページでご覧いただけます。



問 総務課 ☎0577-73-7461

募 集

「グリーンライフin飛騨」参加事業者の募集

飛騨地域の脱炭素・循環型社会のライフスタイルへの転換を加速させるために、「グリーンライフin飛騨」を行います。この取り組みは、環境に配慮した行動やサービスに協力いただいた場合に、お客様にさるぼぼポイントを提供します。飛騨信用組合を代表に、高山市・飛騨市・白川村が協力して実施するものです。

現在、当取り組みの参加事業者を募集中です。ぜひご参加ください。

■対象者

飛騨地域（高山市・飛騨市・白川村）で事業を営む方

■事業内容

消費期限間近の商品の購入、包装資材やアメニティ提供の辞退など、参加事業者があらかじめ定めた環境配慮行動をされたお客様にさるぼぼポイントを付与します。

※ポイントは事業者負担

■事業者のメリット

- ・さるぼぼポイントの付与による集客効果
- ・環境にやさしい事業者（店舗）、SDGsへの貢献としてのPR効果など

問 飛騨信用組合経営企画部 ☎ 0577-32-8988

協力：環境課 ☎ 0577-73-7482



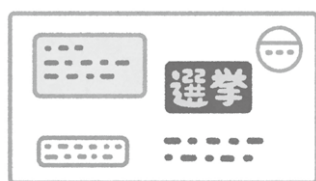
お知らせ

選挙時における郵便等による不在者投票制度

身体障がい者手帳、戦傷病者手帳又は介護保険被保険者証のいずれかをお持ちで、要件に該当する方は、選挙時において郵便等による不在者投票をすることができます。

なお、郵便等による不在者投票制度を利用される場合、あらかじめ「郵便等投票証明書」の交付を受ける必要があります。

ご利用される場合は、選挙管理委員会事務局までお問い合わせください。



問 選挙管理委員会事務局

☎ 0577-73-7461

お知らせ

市・県民税第3期分 納期限は10月31日（月）

■口座振替の方

納期限前日までに残高の確認をお願いします。

■納付書の方

納付書に記載の金融機関、コンビニ、スマートフォン決済アプリ等で納付してください。

毎月給与の支払いを受けている方は勤務先の事業所で給与から住民税を差し引く方法による納税ができますので、事業主にご相談ください。



問 税務課 ☎ 0577-73-3742



飛騨警察署からのお知らせ

自転車条例施行！

岐阜県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例が本年4月に施行となり、令和4年10月1日から自転車保険への加入が義務化され、自転車利用者のヘルメット着用が努力義務となりました。自転車保険への加入とヘルメット着用をお願いします。

○自転車事故の高額賠償事例

坂道を下ってきた小学5年生の自転車が歩行中の女性と正面衝突し、女性は意識が戻らない重症を負った事故。監督責任を問われた保護者に約9,500万円の支払い命令が出されました。

○ヘルメット着用状況別の致死率

ヘルメット非着用で交通事故に遭った場合、致死率が約3倍となります。

問 飛騨警察署 ☎ 0577-73-0110

募集

「あしなが育英会」奨学生募集

一般財団法人あしなが育英会では保護者が、病気や災害（道路上の交通事故を除く）、自死（自殺）などで死亡されたり、障がい認定（1～5級の認定）を受けていて、経済的な援助を必要としているご家庭のお子さんを対象に奨学金を給付します。

■応募資格

高等学校（定時制・通信制を含む）・高等専門学校等、大学受験資格を得られる3年制の専修学校高等課程の1年生に進学を希望している中学3年生

■申請締切 12月15日（消印有効）

■奨学金制度の概要

- ・奨学金は、給付型です
- ・奨学金は 月額3万円
- ・入学一時金制度は、無利子貸与型
私立高校入学一時金 30万円
- ・令和5年4月分から卒業まで



問 あしなが育英会フリーダイヤル

☎ 0120-77-8565（平日9:00～17:00）

お知らせ

令和5年 飛騨市二十歳のつどい
（旧成人式）

令和5年飛騨市二十歳のつどいを開催します。

■開催日時

令和5年1月3日（火）
14:00～

■会場

【古川会場】飛騨市文化交流センター
【神岡会場】神岡町公民館

■対象者

平成14年4月2日～平成15年4月1日生まれで、飛騨市に住民登録のある方、または平成29年度に飛騨市内の中学校などを卒業された方。

■出欠報告のお願い

対象者の方に、11月上旬に案内を送付します。案内する回答フォームより出欠をご報告ください。

※二十歳のつどいに関する最新情報は、市公式ホームページで随時お知らせします



問 生涯学習課 ☎ 0577-73-7495

お知らせ

マスクの着用ができない方への
意思表示カードの配布

マスクの着用ができない方のために意思表示カードを市役所市民保健課及び各振興事務所窓口を設置しています。ぜひご利用ください。

※岐阜県有志保護者の会「みんなの笑顔を守る会」から寄贈されたものと「憩いの家」作成のものがあります。



問 市民保健課（本庁舎）

☎ 0577-73-7464

お知らせ

11月の献血バス

輸血用の血液は、まだ人工的に造れず、長期保存もできません。多くの方々のご協力をお願いします。

■日時 11月10日（木）
14:00～16:30

■場所 飛騨市役所

問 古川町保健センター

☎ 0577-73-2948

お知らせ

最低賃金「910円」に改定

■時間額 910円（30円UP!）

■施行 令和4年10月1日から岐阜県最低賃金は、年齢に関係なく、パートや学生アルバイトを含め、県内で働くすべての労働者に適用されます。

問 岐阜労働局賃金室

☎ 058-245-8104

お知らせ

高山年金事務所による
出張年金相談

下記の日程で年金相談を行います。（事前予約可）

■相談内容

- ①年金受給に関すること
- ②年金記録に関すること

■場所および日時

- ・神岡会場 神岡振興事務所
11月10日（木）10:00～15:00
- ・古川会場 飛騨市役所
11月24日（木）10:00～15:00

■持ち物

- ①年金手帳または年金証書
- ②本人確認書類（マイナンバーカード、運転免許証等）
- ③委任状（本人が来庁できない場合）

問（古川）市民保健課（本庁舎）

☎ 0577-73-7464

（神岡）神岡振興事務所市民福祉係

☎ 0578-82-2252

募集 飛騨市の魅力を発信する動画やブログを応援します！

飛騨市の魅力や取り組みを紹介する YouTube 動画やブログを市が認定し、市民や飛騨市ファンに広く紹介する制度をスタートします。



○市が認定した動画やブログには、認定ロゴを発行し、応募者の動画のサムネや発信媒体で掲載活用することができます。（認定された動画・ブログのみの取り扱いです）

○市が認定した動画やブログは、市の公式情報発信媒体（ホームページや広報、SNS 等）で広く紹介します。

詳しくは飛騨市ホームページをご覧くださいの上、ご応募ください。

問 総合政策課 ☎ 0577-62-8880

お知らせ 認知症を学び、地域で支えよう！ 認知症サポーター養成講座

認知症サポーター養成講座では、認知症について学び、正しく理解した上で、望ましい対応について考えます。1 時間半程度の講座です。



■認知症サポーター

認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る地域の応援者です。

認知症サポーター養成講座で得た知識を生かして、自分ができる範囲での見守り活動や、町中で困っている人への声掛け等、地域で温かく見守っていただける理解者が増えることで、認知症の人にも住み慣れた家で暮らすことができます。

■申込先

オレンジの森（090-1408-1017）またはなないろ（080-7095-6575）までお申込ください。

問 地域包括支援センター 古川窓口 ☎ 0577-73-6233
神岡窓口 ☎ 0578-82-1456

イベント 公民館講座 笑い与健康講座「元気の素は笑顔から」



笑顔と笑い声が元気を連れてきます！落語に手品、健康豆知識等少しでも覚えていただければ、おうちでも笑顔があふれます。ぜひ体感してみませんか。（参加無料）

■日時 11 月 22 日（火）
10:00 ～ 11:30
■会場 神岡町公民館
■講師 なかがわ じゅんいち
■定員 70 名（先着順）
■申込先 古川町公民館（0577-73-6115）までお申し込みください

問 生涯学習課 ☎ 0577-73-7495

イベント 公民館講座 ドキュメンタリー映画「ここに居るさ」上映

高齢者たちが暮らす高根町野麦集落。不便さと不安と孤独を抱えながらも、過疎に生きる母たちが農業を生きがいに強く生きる姿を描いた映画を上映します。（参加無料）



■日時 11 月 3 日（木）
13:15 ～ 15:00
■会場 古川町総合会館
■定員 70 名（先着順）
■申込先 古川町公民館（0577-73-6115）までお申し込みください

※飛騨市社会福祉協議会共催

問 生涯学習課 ☎ 0577-73-7495

お知らせ 飛騨市の空撮 PR 動画を活用ください

ドローンを用いた空撮により市の PR 動画を作成し、その出来栄を競うイベント「第 2 回飛騨市空撮コンテスト」を 8 月に開催しました。

「アウトドア夏！」をテーマに集まった全 11 作品を市の公式 YouTube にて公開中です。

動画は、市の PR 目的であれば、どなたでもご活用いただけます。動画データの提供も可能ですので、必要な方は担当窓口までお問い合わせください。

第 1 回コンテストの動画も同様に利用できますので、ご覧ください。

問 まちづくり観光課

☎ 0577-73-7463



イベント 「飛騨えごま月間」を開催します

飛騨市の伝承作物でもある「えごま（あぶらえ）」。多くの方にえごまの魅力を知ってもらうため、今年も「飛騨えごま月間」を開催します。期間中は、市内飲食店等での「えごま」を使ったメニューの提供があります。詳しくは飛騨市食の情報サイトHIDAICHIをご覧ください。

開催期間

11月1日（火）～30日（水）



HIDAICHI
ホームページ

問 食のまちづくり推進課

TEL 0577-62-9010

お知らせ 自慢のお米を商品化しませんか？

市では、市内で飛騨市産米を取扱う個人、団体で飛騨市産米の商品を、新たに開発される方を支援しています。この機会に商品開発をしませんか？

補助内容

- ①新規ロゴや梱包材のデザイン
- ②新規梱包材の制作

補助率

対象経費の1/2（上限20万円）



問 食のまちづくり推進課

TEL 0577-62-9010

募集 飛騨の米取扱認定店を募集

市では、飛騨産（飛騨地域内）のお米を扱っている飲食店や旅館を「飛騨の米取扱店」として認定しています。認定店には、キャプションスタンドなどを無償提供することでお客さんに対して飛騨の米のPRを行っています。

現在、飛騨の米を取り扱っている事業者、今後取り扱いを希望する事業者は、ご相談ください。



問 食のまちづくり推進課

TEL 0577-62-9010

イベント 図書館でハロウィンを楽しもう！

ハロウィンの飾りつけのほか、記念撮影コーナー、まじょのおはなし会や謎解きもあります。ぜひ、仮装をして遊びに来てください。

【飛騨市図書館】

暗がりライブラリー 2022

ハロウィンパーティー

■日時 10月21日（金）17：00～20：00
※館内が暗くなります

【神岡図書館】

HAPPY☆HALLOWEEN

■日時 10月22日（土）14：00～17：00

詳細は各館にお問い合わせください



問 飛騨市図書館 TEL 0577-73-5600

問 神岡図書館 TEL 0578-82-1764

図書館においでよ 新着図書ピックアップ

大人向けのオススメ



『日本で一番わかりやすい 手相の本』

田口 二州/著 PHP研究所

あなたの運勢や性格を手相から読み解いてみませんか？基礎知識から線ごとの細かい解説までをイラスト付きでわかりやすく紹介します。

子ども向けのオススメ



『押す図鑑 ボタン』

西村 まさゆき/編・著 小学館

バスや自販機、リモコンなどのよく触るボタンから点灯式やクイズ番組、参議院の投票ボタンなど見たことないボタンまで盛りだくさんの1冊！

問 飛騨市図書館 TEL 0577-73-5600 URL <https://hida-lib.jp>

お知らせ

「おかえり！さくら」ファンミーティング in 飛騨市

飛騨市などを舞台に2002年4月から放送されたNHK連続テレビ小説「さくら」。放送から20年を記念して、メインキャストをゲストに迎え、当時の思い出や20年後に明かされる裏話など懐かしい映像とトークをお届けします。

観覧は事前のお申込みが必要です。（郵便往復はがきの申込みのみ）申込方法について、詳しくはNHK岐阜放送局のホームページをご覧ください。

<http://nhk.jp/gifu>

- 日時 11月27日（日）13：30～15：00
- 場所 飛騨市文化交流センター
スピリットガーデンホール
- 出演 高野志穂、小澤征悦ほか



高野志穂



小澤征悦

問 まちづくり観光課 ☎ 0577-73-7463

お知らせ

11月は子ども・若者育成支援強調月間

岐阜県では、子どもや若者の健全育成のため、青少年が使用する携帯電話やスマートフォンへのフィルタリング利用促進などの有害環境対策や社会的自立支援に向けた取り組みを行っています。

ご家庭や地域においても、子どもとコミュニケーションを図るなど、身近な取り組みを通して、次代を担う子ども達や若者の健やかな成長を見守りましょう。



問 生涯学習課 ☎ 0577-73-7495

募集

市営住宅入居者の募集

公営住宅	新栄町団地	杉崎団地	山之村団地	宮川団地	西忍団地	打保住宅
種類	特公賃	公営	公営	特公賃	公営	特定
募集戸数	(世帯用) 1戸	(世帯用) 1戸	(世帯用) 2戸	(世帯用) 1戸	(世帯用) 2戸	(単身用) 1戸
所在地	古川町新栄町	古川町杉崎	神岡町森茂	宮川町林	宮川町西忍	宮川町打保
構造・規模	S造3階建	S造2階建	木造2階建	木造2階建	木造2階建	木造2階建
間取り	3DK	3LDK	2LDK	2LDK	3LDK	2DK
家賃	入居者の所得に応じて決定					
	駐車場使用料、共益費別途	駐車場使用料、共益費別途	共益費別途	共益費別途	共益費別途	共益費別途

■敷金 家賃の3カ月分 ■申込期間 10月24日(月)～10月31日(月) ■入居予定日 12月1日(木)

※RC造…鉄筋コンクリート造 S造…鉄骨造

- ・入居資格について、所得等の条件がありますので、詳しくはお問い合わせください
- ・個人番号の記載箇所があるため郵送での受付ができません。都市整備課または各振興事務所まで直接ご提出ください

問 都市整備課 ☎ 0577-73-0153 (古川・河合・宮川) 神岡振興事務所 建設農林課 基盤係 ☎ 0578-82-2254 (神岡)



相談窓口情報を悩み別に検索できるサイト(コード)です。
電話でのご相談も受け付けています。

こころの健康相談統一ダイヤル TEL0570-064-556



お知らせ

11月は児童虐待防止推進月間

子育ての小さな悩みや不安の積み重ねなど、さまざまな理由で起こる児童虐待は親子を傷つけ苦しめます。勇気をだして次の相談窓口へ相談・連絡してください。

- ・あなた自身が出産や子育てに悩んだら
- ・周りの親子で気になる様子などがあれば
- ・虐待を受けたと思われる子どもがいたら



※連絡は匿名で行うことも可能です

※連絡者や連絡内容に関する秘密は守られます

【相談窓口】

- ・児童相談所虐待対応ダイヤル ☎189 (いちはやく)
- ・飛騨子ども相談センター ☎0577-32-0594
- ・ひだ子ども家庭支援センターぱすてる ☎0577-37-1061
- ・子育て応援課 (専用) ☎080-2621-7281

問 子育て応援課 ☎0577-73-2458

お知らせ

11月は女性に対する暴力をなくす運動期間

11月12日から25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間、11月25日は「女性に対する暴力撤廃国際日」です。配偶者等からの暴力(DV)、性犯罪・性暴力、ストーカー行為などの女性への暴力は決して許されません。

もしも自分自身やあなたの周りの人が悩んでいたら、勇気を出して相談窓口にご相談ください。

【相談窓口】

- ・性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター ☎8891
- ・DV相談ナビ ☎#8008
- ・DV相談ナビ+ ☎120-279-889
- ・配偶者暴力相談支援センター ☎0577-36-2531
- ・岐阜県女性相談センター ☎058-213-2131
- ・子育て応援課 (専用) ☎080-2621-7281



問 子育て応援課 ☎0577-73-2458

相談コーナー

相談名・相談内容	要予約	実施日	時間	場所	問い合わせ
若者就労相談 (若者を対象とした就労相談)	○	11/2(水)、9(水) 16(水)、30(水)	13:00~16:00	古川町公民館	県若者サポートステーション ☎0577-35-4770
ビジネスサポート相談 (売上拡大、経営改善など経営上の相談)	○	11/1(火)、2(水) 21(月)、22(火)	10:00~17:00 11/1(火)、21(月)は19:00まで	古川町商工会	古川町商工会 ☎0577-73-2624
		11/16(水)	13:00~17:00	神岡商工会議所	商工課 ☎0577-62-8901
ハローワーク出張相談 (職業相談、シルバー人材入会説明)	-	11/29(火)	11:00~15:00	古川町公民館	ハローワーク高山 ☎0577-32-1144
		11/14(月)	13:00~15:00	神岡商工会議所	ハローワーク高山 ☎0577-32-1144
こころの健康相談 (精神科医師によるこころの相談)	○	11/16(水)	13:30~15:30	神岡町保健センター	飛騨保健所 ☎0577-33-1111(内線312)
こころの相談室 (精神保健福祉士によるこころの相談)	○	11/10(木)	13:30~15:30	ハートピア古川	古川町保健センター ☎0577-73-2948
消費生活相談員による無料相談 (専門の消費生活相談員による消費生活相談)	○	11/2(水)	10:00~15:00	飛騨市役所	総務課 ☎0577-73-7461
もの忘れ相談 (もの忘れ・認知症の相談)	○	11/30(水)	9:00~12:00	オレンジ相談なないろ 神岡町殿789-4 旧工藤医院	認知症地域支援推進員 ☎080-7095-6575(火・水・金)
	○	11/17(木)	9:00~12:00	オレンジの森 古川町新栄町11-5 ツタビル2階 (1階にコインランドリーあり)	認知症地域支援推進員 ☎090-1408-1017(月~金)
認知機能チェック および 脳トレ	○	11/24(木)	9:00~12:00		
	○	11/16(水)	9:00~12:00	オレンジ相談なないろ 神岡町殿789-4 旧工藤医院	認知症地域支援推進員 ☎080-7095-6575(火・水・金)
もの忘れ相談 (認知機能チェックおよび脳トレ)	○	11/9(水)	9:00~12:00	河合町 すこやか館 河合町角川318	認知症地域支援推進員 ☎090-1408-1017(月~金)
	○	11/30(水)	9:00~12:00	宮川町公民館	



「飛驒市学園構想」ビジョンに掲げる「目指す未来の創り手像」や「創りたい地域像」の実現に向けての課題、アイデア等について世代を越えて語り合う場として、今年も飛驒市教育フォーラム2022「まなびみらい会議」を開催しました。オンラインでの開催となった今回は、市内外約80名の方にご参加いただき、「『みんなで育てみんなが育つ魅力あるまち』の姿とは？」をテーマに、多様な側面から飛驒の教育を捉え、考える時間となりました。

◆今後求められるまちの姿

都竹市長による基調提案では、「夢中で遊ぶ大人があふれるまち～飛驒市学園構想の今後～」と題し、人口減少やグローバル化が進む先に起こり得る諸課題の解決には「社会力」が必要、その力を育むには多様な大人と子どもとの活動や交流が重要であるとの話が展開されました。

その後、実際にこれまで地域で生まれた活動事例を「子育て」「学校教育」「社会教育」の3テーマに分かれ、5組の登壇者が実践内容を共有、参加者も一体となって対話、相談がなされました。中には、実践者として現役の中学生も登壇し、堂々とした語りと熱い眼差しに未来の創り手としてのエネルギーを感じました。

◆飛驒市学園構想 第2章に向けて

会の最後には、この日のまとめとして「みらいビジョンワークショップ

プ」と題し、学園構想のビジョン実現を見据えた地域の未来に関する意見交換が行われました。

こちらの内容は年度末に発行される2冊目のリーフレットに掲載予定です。

来年もこのような「学びの場」を開催予定ですので、皆さまからのご意見、ご提案お待ちしております。



問 学校教育課 ☎ 0577-73-7494



今年の夏も暑かったですね。その分、水分補給に麦茶をたくさん飲みました。

麦茶は大麦の種子を煮出して作りますが、中にはハトムギと大麦をブレンドしたもの、ハトムギだけのものもあります。ハトムギをお茶の材料にする場合は焙煎することが多いため、香ばしさがあり、より美味しく飲めます。某大手飲料メーカーで通年販売されている人気のお茶にもハトムギが使用されています。

ハトムギは生薬名でヨクイニンと

いい、皮膚や粘膜の血流改善や、リンパの流れを良くする働きがあります。そのため、皮膚に血液がよく行き渡ると同時に老廃物を運び去るため、新陳代謝が活発になり、肌が美しい状態に保たれます。ハトムギのエキ스가化粧品の原料になっていますが、それも納得ですね。

また、利尿作用もあり、体内の余分な水分や老廃物を排出してくれます。そして豊富な食物繊維の働きでも老廃物を排出するため、体全体の代謝や排出を増強してくれるので、特に女性の美容と健康の味方です。

ハトムギは毎日食べても副作用がありません。ぜひ積極的に体に取り入れてください。

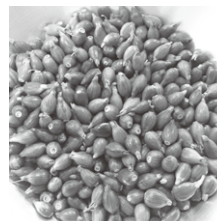
美味しく体に取り入れるためには、種子を金槌で叩くなどして殻を割り、中身を取り出しましょう。この中身は長時間炊き込むと柔らかくなるので、肉や野菜と一緒に粥に

してみましょう。

お茶で楽しむにも、殻のままではせっかくの成分が出にくいので、ミルで粉状にしてお茶パックに入れて煮出すか、炒ってはじかしてポップコーンのようにしてから煮出すと香ばしさも出てより美味しく飲むことができます。

ハトムギの恩恵を最大限に得るためには何より丸ごと食べてしまうのがよいですね。

この夏、強い日差しを受け続けた皮膚のケアにぜひ活用しましょう。



効 能	皮膚・粘膜の血流促進、イボ、便秘、利尿
採取先	畑、スーパーなど

問 まちづくり観光課 ☎ 0577-73-7463

まめなかな

コロナ禍の中での こころの健康について

新型コロナウイルスの感染が拡大し、私たちの生活様式も随分変化しました。感染に対する不安や行動変容にともなうストレスなど心理面にも大きな影響が及ぼされています。

厚生労働省の調査によると、6割近くの方が、自分や家族が感染するかもしれないことに不安やストレスを感じています。先の見えない不安が続く、いつのまにか心が疲れてしまうこともあります。

怒りっぽくなったり、イライラする、やる気がおきない、眠れない等

「何かいつもと違う」と感じることであれば、心が出しているサインかもしれません。我慢をせず、早めに身近な人や窓口に相談しましょう。

環境の変化は大きなストレス要因となるため、メンタルに不調がおこることは正常な反応です。新たな生活様式の中でも、自分らしく規則正しい生活を送りましょう。生活リズムが不規則になると、睡眠の質が下がったり、心身に不調がおこる原因となります。

コロナ禍の中ではさまざまな情報が氾濫し、情報を得るだけでも疲れてしまうかもしれません。自分でできる基本的な感染予防にしっかり取り組み、過度な心配をしすぎないようにしてください。

もし、自分や周囲の方に心のSOSサインがあった時、相談を迷ってしまうことはよくあることです。話を聞いてもらうだけで、気持ちが楽に

なったり、落ち着くこともあり、心身の健康を早く取り戻すための大切な鍵は相談してみることです。不調がしばらく続いている、周りに相談ができない等の場合は、公的な相談窓口も利用してみてください。

【厚生労働省 まもろう
よこころ（電話・SNS相
談先ホームページ）】



【よりそいホットライン】

☎ 0120-279-338

【こころの健康相談統一ダイヤル】

☎ 0570-064-556

【飛騨市こころの相談室】

精神保健福祉士が対応・要予約

☎ 古川町保健センター

0577-73-2948

問 古川町保健センター

☎ 0577-73-2948



そろそろ 終活

<その31> はじめませんか？

老後資金の不安

リタイア後の生活で多くの方が不安に思うことのひとつが「お金に関すること」です。例えば、収入源が年金だけになった場合、果たしてそれだけで今まで通りの生活が維持していけるのかどうか。または家族の誰かに介護が必要になった時、いったいどれくらい介護費用がかかるのかといった不測の事態に備えることなどを考えると、不安になりがちです。不安を解消するためには、まずは自分にとってどの部分が不安なのかをはっきりとさせることです。

また、自分の財産を全て洗い出してリスト化してみます。確認すべき項目は、預貯金、現金、株や債券、生命保険、不動産など。どんな形式でもよいのですが、全て書き出して把握しておくことが大切です。それから、所有する財産から自由に使えるお金も確認してみましょう。家具や家電の買い替え、趣味や旅行などのまとまった支出がある場合は、この自由に使えるお金から取り崩すこととなります。

もし自由に使えるお金に余裕がありそうな場合は、自分の死後、残される家族などがいるのであれば、それを「どう残していくのか」ということも考えてみるのも良いですね。例えば「遺言」や「信託」を活用することで、財産の行く先を、あらかじめ決めることができます。

また、年金だけでは生活費等がまかなえない場合は、足りない分を財

産で補てんすることになります。

終活において、自分の財産を把握したり整理したりすることは大切なことです。確認する事項も多いので、元気なうちに着手しておけば、将来必要となる老後資金対策にもなります。そして、不安な部分があるのなら、ファイナンシャルプランナーなど、第三者の視点からのアドバイスを得るのも一つの手です。

いきいき終活セミナー

～老後の生活を支えるマネープラン～

■期日：11月27日(日)

■時間：午後1時30分～

■場所：古川町公民館

■講師：(株)飛騨ライフプラン
FP 松山 尚登 氏

問 予 飛騨市終活支援センター

(飛騨市社会福祉協議会内)

☎ 0577-73-3214

2022年9月30日現在（敬称略）

ご 結 婚

お名前 住所
吉村 洵哉 古川町東町
井口 安代 高山市

お 誕 生

お名前 住所 保護者
【古川町】
上野 里茉 上気多 祐・聖奈
堀 丞 貴船町 寛・知祥
牛丸 想太 金森町 航希・優衣
齋藤 文治 杉崎 敦・麻祐子

【神岡町】
石橋 和 東町（坂戸2） 晟・里央
富田 つみき 江馬町 貴大・菜那
丸亀 善 小萱（下小萱） 淳吾・由香里
河上 京太朗 船津（本町3） 李珍圭・紗千

お 悔 み

お名前 住所 年齢
【古川町】
藤戸 廣子 式之町 (80)
中村 政一 式之町 (83)
重森 善和 中野 (83)
井戸 信子 上野 (86)
田中 美知江 沼町 (80)
森下 義則 増島町 (92)
谷口 千ヨ 上気多 (95)
大塚 智英 上町 (57)
谷口 礼華 上気多 (32)
岩村 光造 増島町 (96)
面手 政子 袈裟丸 (95)
山田 三郎 高野 (92)
野村 由之 袈裟丸 (87)
福井 佐代子 増島町 (89)
古田 愛子 上町 (96)
田中 多己子 杉崎 (93)
清水 初枝 片原町 (90)

【宮川町】
平田 善行 打保 (85)

【神岡町】
岩田 藤平 東町（白山2） (87)

お 悔 み

【神岡町】
小保田 尚 江馬町（江馬4） (64)
道上 清一 東町（高原2） (98)
堀田 瑛子 船津（西里2） (76)
森田 啓子 東町（末広1） (74)
森本 富夫 船津（西ヶ丘） (86)
森腰 幸一 東雲（西野町3） (90)
澤田 章 数河（浅井田） (75)
小林 茂 船津 (95)

ご 寄 付

次の方から温かいご寄付をいただきました。

【ウクライナ人道危機救援金】
味処古川協会 様（古川町） 金3万円

【市内保育園・小学校へ】
希夢千家けいちゃん 様 英語教材 1式



【飛騨市民病院へ】
匿名（神岡町） 金10万円
田中 實則 様（神岡町） 金20万円
匿名（高山市） 金2万円

【飛騨市の地域経済振興へ】
飛騨信用組合 様 金100万円



人口の動き
（10月1日現在 住民登録人口）

男	女	計	世帯数
10,933	11,680	22,613	8,824
出生 11	転入 38		
死亡 32	転出 47		
高齢化率 40.07%			

町別人口内訳

古川町	13,765
河合町	834
宮川町	564
神岡町	7,450

消防の状況
（9月30日現在）

本年累計	火災	救急
飛騨市	5	868
その他 （管外出動）	0	1
前月比	0	91

交通事故の状況
（9月30日現在）

本年累計	人身交通事故			物 損 交通事故
	件数	死者	傷者	
本年累計	11	2	15	329
昨年同期	16	1	22	290
増減	-5	+1	-7	+39



飛騨市役所

ホームページと SNS でまちの話題を配信中！



まちの話題 いろいろ



9/2

市内企業の若手社員が交流を深め、 楽しく仲間づくり

市内で働く若手社員のモチベーションを高め、生産性向上などにつなげてもらおうと企画。夢や思いなどを話し合っ共有したり、前向きな気付きを得るためのゲームをして、楽しく交流しました。



9/4

大人も子どもも 「モルック」を体験



フィンランド・カレリア地方に伝わるゲームを基に開発された新しいスポーツ「モルック」を普及するための教室がサン・スポーツランドふるかわで開かれ、約20名が参加しました。



9/4

リトアニアの文化を 肌でふれました



県国際交流センターが日本とリトアニアの「友好100周年記念イベント」を開催。リトアニアの組みひもづくり、飛騨のつるし飾りづくり、コンサートや中学生との交流などが行われました。



9/2

「夏のDigi田甲子園」で 飛騨市が全国準優勝！

内閣官房が行う「夏のDigi田(デジデン)甲子園」において、電子地域通貨「さるぼぼコイン」を活用した取り組みが評価され飛騨市が岐阜県代表に選ばれ、インターネット投票により、準優勝となりました。



9/4

止利仏師伝説を掘り下げる 展示や講演などを実施

河合町に伝わる「止利仏師(とりがっし)」伝説を取り上げた企画展「天生の森と止利仏師—飛騨の匠の源流を追い求めて」が、9月4日から18日までの日程で開催されました。



9/10

ワダアスカさんと モビールづくり



絵本作家・ワダアスカさんによる読み聞かせと、オリジナルモビールの工作を親子で楽しむワークショップが、飛騨市図書館と神岡図書館で開かれました。



9/11

薬草フェスティバルが 開催されました

特レポ

飛騨古川の街中を巡りながら薬草を楽しんでもらうイベントで約500人が参加しました。今回は新たな勉強会やワークショップも行われ、市内外多くの方でにぎわいました。



9/15

認知症の方やご家族に 優しいまちづくりを

特レポ

市認知症キャラバンメイトの皆さんなどが講師となり、古川小4年生を対象に認知症キッズサポーター養成講座が行われました。座学や寸劇で、認知症のお年寄りとお会った時の対応などを学びました。



9/23

山之村小中学生 地域の魅力伝える催し

特レポ

山之村小中学校が古川町の飛騨産直市そやなで「山っこブランド販売会」を催しました。高冷地野菜や特産品の販売、子どもたちが制作したポスターやチラシ、動画上映で地域の魅力をアピールしました。



9/12

荒廃農地対策として 牛の放牧実験が始まりました

市は、未使用で荒廃する農地対策として、市内の農地で試験的に牛を放牧する取り組みを始めました。モデル地区となる古川町畦畑の太下農場の牛舎近くで、約1,700㎡の草地に牛2頭を放牧しました。



9/18

飛騨市民賞に渡邊正康さんの 「メロディードラム」

市美術展の来場者が投票で決める「飛騨市民賞」に、古川町の渡邊正康さんの「メロディードラム」が選ばれました。音の出る楽しい立体作品です。おめでとうございます。



9/23

より深い飛騨市の魅力を知って 楽しむ集いを開催

飛騨市ファンクラブの会員が1万人を突破したことを記念して「飛騨市ファンの集い in 飛騨市」が開催されました。当日はセレモニーと懇親会、都竹市長の案内による街歩きなどが行われました。



飛騨市役所

ホームページと SNS でまちの話題を配信中！



まちの話題 いろいろ



9/25 消防団ひまわり 消火隊が走行訓練



飛騨市消防団古川方面隊の「ひまわり消火隊(赤バイ隊)」走行訓練が行われ、同隊員ら9人が走行スキルの向上を目指し、白バイの県警交通機動隊員から指導を受けました。



9/26 大工職人による「旧中村家」 探訪ツアーを開催

飛騨みやがわ考古民俗館にある宮川町で唯一の茅葺き民家「旧中村家」の探訪ツアーがありました。宮川町の建築家・大工で、樹杜屋あらべえ代表の荒木昌平さんが旧中村家の特徴を解説しました。



9/26 食の大使・工藤英良さんから 飛騨の食の魅力を学びました

飛騨市民カレッジのアカデミック講座「世界から見た飛騨の食材」が開かれ、「飛騨市食の大使」の工藤英良さんから巻き寿司「Hida Roll」(飛騨ロール)の作り方など、飛騨市の食の魅力を学びました。



9/28 神岡町の兜谷カヲルさんに 100歳の褒賞

神岡町の兜谷カヲルさん(大正11年7月25日生まれ)が100歳を迎えられ、長年にわたって社会の発展向上に貢献されたことから、市からの褒賞として藤井市民福祉部長からお祝いと花束が贈られました。

「広報ひだ10月号」表紙用にご応募いただいた写真を紹介します(その1)



たくさんのご応募ありがとうございました。(次回1月号の表紙写真を募集中。12/16(金)締切)



飛騨古川花火大会
『みんなで観に行こう!』



神岡町大津神社
『神域』



安峰山展望台
『僕の家どこかな?』



安峰山展望台
『見上げてごらん』

飛騨市まちづくりレシピ

まちづくりって特別なことじゃなく、みんなの暮らしがちょっと豊かになる活動。
飛騨市内で活動されているまちづくり団体を紹介していきます。
気になる活動があれば、気軽に参加してみませんか？

飛騨の森をもっと身近に 広葉樹の素材をもっと身近に

飛騨市地域おこし協力隊 及川 幹さん



▲飛騨の森を知ってもらう取組み



▲作り手と素材とのマッチング(商談)風景



▲広葉樹の短期乾燥プロジェクト

飛騨市は 94%が森林ですが、そのうち 68%が広葉樹。その為、豊かな山からミネラルいっぱいの水が生まれ、美味しい作物が育っているといわれていますが、針葉樹と違って、広葉樹は建材や家具には使いづらいと活用が進んでいませんでした。そんなもったいない状況を改善しようと、2014 年、飛騨市は「広葉樹のまちづくり」活動をスタート。今回は 2020 年から広葉樹担当の地域おこし協力隊として活動されている及川さんにお話を伺いました。

幼少期はお父さんの仕事の都合でブラジルで育ったという及川さん。「ブラジルと日本では良いこと、悪いことの違いが大きすぎて。文化の違いに関心を持ちました。そこから人と自然の関係性に興味を持ち、大学では民俗学を学んだんです。」そんなバックグラウンドから林業を仕事にした及川さん。豊田で針葉樹を扱う仕事をしていました。

「子どもが生まれるタイミングで、どこで子育てをしようと考えようになりました。林業をやるなら次は広葉樹に携わりたいと考えていたんですが、そんな時に飛騨市の募集と出会いました。」

晴れて協力隊に任命されるも、時はちょうどコロナが広がり始めていた時期。最初は単身赴任で、一人で飛騨市に移住しました。

「人に会いづらい時期で、活動しにくいところもありました

が、その分、最初は森林組合、製材所、ヒダクマなどの飛騨市の広葉樹に関わる企業で研修させていただきました。」そうして市内から市外へ情報収集や人脈を広げていき、現在は「飛騨の広葉樹を活かす、新しい流通の仕組みづくり」という大きな目標に向かって進んでいます。

「広葉樹は針葉樹に比べたらまだまだ市場規模も小さいです。樹種が多く、色や形にもばらつきがあり、扱いが難しいですが、そこどう付き合っていけるか。飛騨の森や素材の特徴にあわせて、流通を考え直すこと。そして作り手から地域の方々まで、広葉樹との多様な関わりを生み出していくこと。難しいけど可能性があると思っています。」そう語る及川さんは、「眺木展」を企画したり、広葉樹を販売する「蔵出し広葉樹」を行い一般向けに認知を広げています。その一方で、企業や作家などのプロ向けに飛騨の森を紹介したり、作り手と素材のマッチング、木を流通させる上で欠かせない「短期乾燥」のプロジェクトなどにも挑んでいます。

「林業は川上の山での伐採から、川中の製材所、川下のメーカーや作家さんなど、一人ではできない、多くの人が関わる産業です。単独では難しい事業ですが、自分がみんなの仕事のハブになって好循環が生まれるような仕組みづくりができないか。今はその方法を模索しています。」

飛騨の豊かな森が今後も続いていくためにも、及川さんの挑戦、広葉樹のまちづくり活動を応援したいですね。

基本情報

着 任：2020 年 4 月

活動地域：飛騨市内

主な活動：広葉樹の魅力の発信や、川上から川下を繋いだ新たな販売ルート、マーケットの創出など。

▼木を眺める眺木展を円光寺で開催。



▲蔵出し広葉樹は定番イベントになってきました！

飛騨市のまちづくり最新情報はこちら▶

<https://www.city.hida.gifu.jp/site/hidaplus/>

